

「見る側」より「行動する側」に

38日間の夏休みが終わり、今日から2学期が始まりました。この夏休みは、猛暑やコロナ禍の影響で、思いっきり楽しむことができなかったかもしれませんが、それでも、思い思いの夏休みを過ごすことができたのではないのでしょうか。学校に響き渡る子供たちの声を聴くと、やはり子供たちあつての学校だなと思います。

まだ新型コロナの感染も続いています。今まで以上に安全対策を施しながら、2学期も、様々な活動に取り組んでいきたいと思っています。

さて、始業式では、この2学期は「見る側より行動する側になろう」という話をしました。今までの活動を通じて、子供たちは自主的に考え、行動することができるようになってきたように感じます。その一方、まだ最初の一步が踏み出せず、見ているだけのことが多い子もいます。そこで、行動に表せなくても気持ちの中だけでも、前向きな気持ちを強く持ってほしい、そして、51%：49%のように1%だけでもいいので「やってみよう」という気持ちを多く持って生活をしてほしいと願っています。これは、本校の教育目標の「自ら学び、共に考え、成長する子」にもつながっています。「自分の課題や目標を持ち、進んで取り組み、自分の成長を実感して新たな課題や目標を見付ける」というように、前向きのスパイラルが気持ちの中に生まれてくると、さらに泉小が楽しく活気がある学校に変わっていくと思います。

「見ている」から「やってみよう」という側に「気持ちのメーター」が動いていき、

一人一人が、前向きに意欲をもって、活動に取り組んでいくことができるように、認め励ましていきたいと思っています。そして、御家庭の中におかれましても、前向きな姿勢が見られたときは、同様に励ましの言葉を掛けていただけるとありがたいです。よろしくお願いいたします。

